



年末特集 今年を振り返って

今年も皆様のご理解・ご支援により報徳食品支援センターも生活に困っている方々に食品の提供を行ってききました。皆様ありがとうございました。



今年、ロシアのウクライナ侵略が始まりました。テレビの世界の話と聞いていましたが、現に私たちの前にウクライナ難民の方も見えなくなりました。では、今年一年の私たちのトピックをいくつか列記してみましょう。

① 運送用車両の受贈

二月にヤマト運輸(株)から保冷軽トラック一台をいただきました。特に冷凍食品のニーズが高く、安全・衛生的に冷凍・冷蔵食品を運送できることは非常にありがたいことでした。

また、昨年には『24時間テレビ「愛は地球を救う」』の寄付金の補助対象になりました。福祉車両として軽ワゴン車を要望、車載用ICチップ等の不足のため納車が遅れ七月になりました。



② ひとり親家庭への国の補助金

今年二月に突然、国のひとり親家庭支援の補助金が出るようになりました。国の補正予算によるものです。そしてその補助金で食品を買って、三月中に配布完了することが条件です。ひとり親家庭一軒に約一万円、さらに子ども一人につき約二千五百円の補助です。

コロナ禍の中で、一番苦しんでいる方々は、子どもをかかえたシングルマザー達ではないかと思

っています。もともと薄給の上、「コロナの影響で仕事がなくったり、大幅に減りました。生活に困り、食事にも困る方々が大幅に増えました。今回の国の食品支援は、まさに適切なものだと思います。但し、一番遅い支援です。声の小さい人たちの意見はなかなか国まで届きません。そういう人たちの声を行政に届けることも大切な仕事です。

それはさておき、我々フードバンクは、お金を出して、食品を購入するのは慣れていません。私たちは、配布食品のメニューをファミリー向けに考え、購入金額を抑え品目を増やし、メーカーから提供が困難な食品を揃えました。これには、女性メンバーの力が大きかったです。頑張って子どもを育てる母親に、それを助ける母親。母は強いですね。

厚生労働省  
ひとり親家庭緊急支援事業

●日時:令和4年3月27日(日)14:00~17:00  
●場所:報徳食品支援センター  
国連255号棟 新幹線おたわら横 南大136-1 駐車場  
持ち物:マイバック・キヤスター付きのカバン等  
※冷凍食品用に保冷バックも用意して下さい  
●協力:報徳食品支援センター、小田原市、小田原市社会福祉協議会  
●協力先: ㈱イーシーカー(小田原市 ㈱アサダ(小田原市) 報徳食品支援センター)

③ 胃袋だけでなく心にも美味しいものを 報徳食品支援センターは、横浜銀行様の実施する「はまぎんミライを創るアクションプログラム」に応募し、採用していただきました。『日頃、生活苦の中で苦勞しているシングルマザーのお母さんの誕生日に、家族全員で祝える様にささやかな「美味しい物サプライズ」を実施します。ケーキやお寿司等、普段食べられない「幸福を感じる美味しい食品」を母親(父親)の誕生日に提供したいと思えます。』これが、アイディアの核心です。十月一日夕方五時から、横浜銀行様の補助金を使った第一回目の「美味しい物サプライズ

お母さんお誕生日おめでとうのお寿司とケーキの配布会」を実施しました。受け取りに来られたお母さん方に「お誕生日おめでとうございます」と声をかけると、他人事のように「えっ!!」という顔をしています。「お母さんへの誕生日プレゼントですよ!! いつも子育て頑張っているの、今日は家族でお祝いしてください。」と言つと、我に返つたようで、涙で目頭を熱くされ、心から喜んでる姿に、「こちらも目頭が熱くなってきました。



生活の支援だけでなく、心の支援も必要ですね。こうした支援をこれからも続けていきたいと思えます。横浜銀行様ありがとうございました。

④ 多くの人たちのご支援

小田原・箱根商工会議所様が、神奈川県が推進する「フードドライブ」を、この地元でも会員企業にPRしていただきました。また、多くの地元企業・学校・個人でも余っているまたは廃棄になる食品を集めて、お届けいただきました。年明け早々にカマボコ・だて巻き等を地元蒲鉾メーカーから頂き、生活困窮の方々にもう一回お正月を味わっていただきました。皆様の善意と福祉の気持ちの表れであり、それによって私たちのフードバンク活動も支えられていると思えます。

編集後記

寒さが一段と厳しくなってきました。よいお年を迎えられるよう「自愛くださいませ。